

以文様爲名

〔家中竹馬記〕一墨笠を馬上にさす事不可有、但貴人馬上にて夏などさ、する時は、小者などさし懸る也、

〔我衣〕元祿ヨリ蛇ノ目ガサ出ル、上青ドサ、深ク、簷厚ク、青ドサ、セウゾク、キヌ糸三通リ、ロクロ元青ドサ、代金二朱位、

女傘ハロクロモト、子リグリモヘギ、五色ノ糸三ダンニマク、ホ子黒ヌリ、手ガルクコシラヘタリ、是上傘ノ始ナリ、

正徳比ヨリ次傘ハ、下リガサノゴトクニシテ、ホ子ノミガキヨク作り、モミヂガサハ、上ハキヌ糸セウゾク、マガヒハ木メン糸、蛇ノ目ニモ、モメン糸アリ、略 中

蛇ノ目内紋ヲキリヌクヨト、享保末ヨリ始ル、青土佐厚クハルコトモ、此比ヨリ始ル、

〔守貞漫稿傘履〕元祿以來、中央青土佐紙、端周リモ同紙、中間白紙張、是ヲ蛇ノ目傘ト云、糸裝束三段、青紙

ノ處ニハ黒漆ヲヌル略 中

今世工商ハ、蛇ノ目傘ヲ用ヒズ、蛇ノ目ハ骨番以上ト周リヲ、戸主等京坂ハ、紺紙或ハ黒ニシ、中間白ヲ云、、周リ

ニ澀柄ヲ交ヘテ色ヲ節ニス、澀ニ水ヲ加ヘ、

黒蛇ノ目傘略 圖、婦女ノ蛇ノ目傘同之、澀蛇ノ目傘モ是ト同形ナレドモ、周リト中央澀ノ所ヲ狭クシ、白ノ分是ヨリハ僅ニ廣キヲ專トス、

今製、蛇ノ目及ビ紅葉傘、大サ亘概四尺二寸、黒蛇ノ目或ハ四尺五寸骨數凡六十間、柄ノ長ケ二尺六寸略 中

奴蛇ノ目傘略 圖、周リ二寸計リヲ淡墨蛇ノ目ニシテ、中央ヲ墨ニセザル物、京坂ニ無之、唯江戸ノミ用之、號ケテヤツコジヤノメト云、奴蛇之眼也、蓋先年ハ市民三都トモニ好數ノ者、墨蛇ノ目次